

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号431

発生場所 外来待合室

精神・意識障害の有無

リスク

発生場所（その他）

なし

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

関連したもの
杖
手すり
その他

発生内容の分類

落下物

発生内容

外来2階の待合室付近に設置された落下防止柵(ガラス)の隙間からの杖の落下。

概要

外来2階の待合室付近は吹き抜けになっており、落下防止のためのガラス柵が設置されている（写真①）。外来患者がその柵の端にある柱に杖を立てかけたところ（写真②）、杖が倒れて柵と柱の間にある5cmほどの隙間から1階に杖が落下した。落下場所は外来入り口付近の通路であったが、通行人等がおらず、怪我人は発生しなかった。

要因

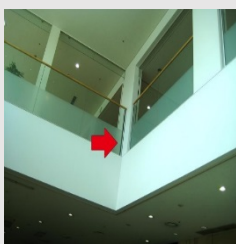
- ・ ガラス製の柵が透明であり、隙間が目視しづらかった。
- ・ 隙間から物が落下することを予測できなかった。

対策

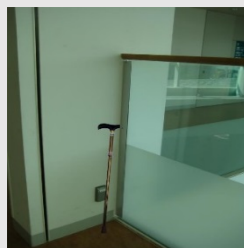
- ・ 同様の隙間がないか点検した。
- ・ すべての隙間をアルミ製の板で塞いだ（写真③）。

参照

① 外来棟待合室付近の吹き抜け



② 患者が杖を立てかけた柱



③ 約5cmの隙間（対策後）

